

一宮市立市民病院に通院中または過去に通院された患者さん

またはご家族の方へ

薬剤局の臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「DASC/DOTを用いたメロペネム供給困難前後の抗菌薬適正使用状況の調査」に関する臨床研究を実施しております。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	DASC/DOTを用いたメロペネム供給困難前後の抗菌薬適正使用状況の調査
所属（診療科）	薬剤局
研究責任者（職名）	伊藤 泰生（薬剤師）
研究実施期間	倫理委員会承認日～2026年12月17日
研究の意義・目的	本研究では、MEPM供給困難前、供給困難期、供給緩和後における抗菌薬使用量および抗菌スペクトルの変化をAUD, DOT, DASCを用いて解析し、MEPMの供給制限が抗菌薬の使用状況に与えた影響を明らかにする。
対象となる患者さん	2021年1月1日～2025年12月31日の期間に入院し、抗菌薬による治療を受けた患者さん
利用するカルテ情報	AUD, DOT, DASC
研究方法	診療データを基にした後向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院薬剤局 〒491-8558 愛知県一宮市文京 2-2-22 電話：（代表）0586-71-1911

本研究では、通常の診療において得られた診療記録（カルテ）や検査結果などの情報を利用して実施します。そのため、新たな診察や検査、検体の採取などは一切行いません。

研究にあたっては、患者さんを直接特定できる個人情報（氏名、住所、IDなど）を削除・匿名化したうえで、統計的に処理・解析を行います。

得られた研究成果は、医学・薬学の発展に寄与することを目的として、学会発表や論文投稿等に利用されることがありますが、個人が特定されることはありません。

ご自身の診療情報等を本研究に利用されることをご了承いただけない場合は、研究対象とはいたしませんので、上記の連絡先までお申し出ください。

ご自身が本研究の対象かどうか不明な場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究事務局で診療録等を確認し、対象かどうかをご説明します。

研究への参加を希望されない場合は、お申し出以降、可能な範囲で研究への利用を中止します。なお、お申し出により診療上の不利益を受けることはありません。